

# コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2018-04-01

No. 96



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation  
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所  
<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

## コスモス ニュースレター EMC & 安全

## 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 総務省: CISPR ウラジオストック会議の審議結果: 情報通信技術分科会 (第 130 回) (2/2)...	3
IEC: 新規格リスト.....	3
ISO: 新規格リスト.....	5
UNECE: 国際テーマ: 国際全車両型式承認に関する国連規制 No. 0 の説明 - 質疑応答(1/3)....	6
国際テーマ: IEC/EN62368-1 ギャップ分析サービスのご紹介.....	8
国際テーマ: 南アフリカ: コスモスが南アフリカ SABS EMC 規制の認定試験所に.....	8
国際テーマ: Nemko インド: 言語要求事項に関するモバイルデバイス試験の実施が可能に.....	9
国際テーマ: インド BIS 規制 (Phase 3) 強制日の延期について.....	9
国際テーマ: アラブ湾岸地域における製品認証スキームのさらなる展開.....	10
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	11
<hr/>	
USA: FCC: KDB: 試験ラボの資格付け情報、FCC 機器認可ウェブページに掲載.....	12
USA: FCC: KDB: 認定試験所チェックリスト 2018/3/2 付けが使用可能.....	12
USA: FCC: Part 2,15,18,73,74,78,80,87,90, 及び 101: 無線周波機器の認可規則施行(3/3).....	13
USA: FCC: Part 20, 68: 補聴器両立性規則の修正.....	15
USA: CPSC: 特定のフタル酸を含む子供向け玩具および育児用品の禁止: 直接最終規則発行	16
USA: FDA: 被験者の保護; 医療機器の臨床検査のデータの承認.....	18
USA: FDA: 医療機器ラベル規則に関するコメントを募集.....	18
USA: DOE: エネルギーラベル規則の修正: 食器洗浄機、炉、室内エアコン等.....	19
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	20
USA: IEEE: 新規格リスト.....	21
カナダ: 官報通知 SMSE-005-18: 無線デバイス試験ラボに対する新しい要求事項を決定.....	22
<hr/>	
EU: チュートリアル: EU 単一市場への出荷時の製造会社の責任(1/8).....	24
EU: 整合規格発行: 無線機器指令、機械指令、ATEX (防爆) 指令、認定及び市場監査規制等25	
EU: 解説: 無線機器指令の整合規格リスト発行: 2018/3/9 日付け.....	26
EU: EMC 指令ガイド (2018/3/12 版) 発行: EMC 指令の共通適用を支援.....	26
EU: Brexit - 自動車の型式承認への影響に関する関係当事者への指針.....	27
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	28
EU: ETSI: 新規格リスト.....	30
<hr/>	
中国: CQC: 都市鉄道車両の電磁適合性及び電磁放射曝露評価業務に関する通知.....	31
中国: CQC: 溶接機の電磁適合性認証規則改訂に関する通知.....	31
中国: CQC: 太陽光発電プラント用 UAV システム認証サービス開始に関する通知.....	31
中国: CQC: 低電圧機器用メインスイッチの適用性能認証業務に関する通知.....	32
中国: 新規格リスト.....	32
台湾: 検査対象の 3C 二次リチウム電池モバイル電源など 5 項目の商品の検査規定の改正.....	33
台湾: 「電気機器商品標示基準」と「情報、通信、消費者向け電子商品標示基準」を廃止.....	34
台湾: 新規格リスト.....	34
韓国: 端末装置の技術基準 2018-2 号一部改正: ギガ級のインターネットサービス端末装置.....	35
韓国: 電気用品安全基準の改正告示 (KC 60901, KC 60081, KC 10025).....	35
韓国: 自律走行車国家標準 (KS)、200 種に拡大.....	35
<hr/>	
総務省: IEC: CISPR ウラジオストック会議の審議結果: 情報通信技術分科会 (第 130 回) (2/2).....	37
総務省: 5.2 GHz 帯無線 LAN の屋外利用等に係る制度整備: 電波法施行規則の一部を改正.....	43
総務省: 生体電磁環境に関する研究戦略検討会 (第 1 回) 配布資料.....	43
経済産業省: 電気用品安全法 HP にて、対象・非対象関係 (7 品目) が追加された.....	44
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正しました (平成 30 年 3 月分).....	44
ちよつといっぷく~小クイズコーナー 「特定無線設備等に関して」.....	11
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内.....	23
社長の独り言.....	45



## [総務省: IEC: CISPR ウラジオストク会議の審議結果: 情報通信技術分科会 \(第 130 回\) \(2/2\)](#)

- 平成 29 年度の CISPR 全体総会は、平成 29 年 10 月 2 日から 6 日までの間、ウラジオ ストク (ロシア) において開催された。我が国からは、総務省、各研究機関、各大学、各試験機関及び各工業会等から 29 名が参加した。会議の審議結果第二回目をお伝えします。

## [UNECE: 国際テーマ: 国際全車両型式承認に関する国連規制 No. 0 の説明 - 質疑応答\(1/3\)](#)

- 国際全車両型式承認に関する統一規定に関する UN 規制 Regulation No. 0 (ECE/TRANS/WP.29/2017/108) が、国連欧州経済委員会傘下の「自動車規制の整合化に関する世界フォーラム 第 173 回セッション」で審議された。世界フォーラムは、ECE/TRANS/WP.29/2017/108 を検討し、投票のため AC.1 への提出を、推奨した (昨号紹介)。
- ここで紹介する本文書は、上述の国際全車両型式承認に関する国連規制 UN Regulation No. 0 を説明するための「質疑応答」文書である。

## [USA: FCC: KDB: 試験ラボの資格付け情報、FCC 機器認可ウェブページに掲載](#)

- 発行番号: 349827 のもと、この KDB 文書で以前に取り上げられていたトピック(試験ラボの資格付け)は、現在 FCC 機器認可ウェブページにて扱われている。  
<https://www.fcc.gov/testing-laboratory-qualifications#block-menu-block-4>

## [EU: Brexit - 自動車の型式承認への影響に関する関係当事者への指針](#)

Brexit: イギリスの EU 離脱問題を意味する、Britain と Exit を合わせた造語

- 添付文書 document は、以下の次項の型式承認に関し、英国の撤退が法的にどのような結果をもたらすかを解析する：
  - モータ車両とそのトレーラ
  - モータ車両用のシステム、コンポーネントおよび個別の技術ユニット
- 撤退日以降については、EU 法のもと以前権限のあった英国承認機関によって授与された型式承認を参照した適合証明書を添付して、製造会社が、モータ車両を欧州連合市場に出すことは、撤退日から、不可能である。

## [EU: チュートリアル: EU 単一市場への出荷時の製造会社の責任\(1/8\)](#)

- 1996 年 1 月 1 日から、電気・電子製品など多くの製品は、欧州単一市場への商品の出荷には、CE マーキングの貼付が義務付けられ、それが現在に至っている。これはそれまでの、欧州内各国の様々な規制、異なったマーク表示要求を置き換える画期的なことであった。欧州内製造会社等が直面していた欧州横断的販売の難しさを解決し又消費者に一定のより高い保護を与えるものである。これはまた域外の製造会社にも、メリットのあることであった。ここでは、EU の Web サイト「単一市場及び規格」から、CE マーキングの概略、製造会社が各種義務次項を果たし CE マーキングを製品に貼付するまでのステップを紹介する。

## [EU: EMC 指令ガイド \(2018/3/12 版\) 発行: EMC 指令の共通適用を支援](#)

- 長く待たれた本ガイドが発行された。

## [EU: 解説: 無線機器指令の整合規格リスト発行: 2018/3/9 日付け](#)

## 社長の独り言

平成 30 年 3 月 23 日  
濱口 慶一

読者の皆様方は如何お過ごしですか？

伊勢・松阪地方は、多分今週末には桜が満開になりそうです。高校や大学を受験中のご息がおられる家庭では、この数ヶ月間は受験生の方はもちろん、ご両親も緊張感でピリピリした数か月だったと思います。

何故、そうまでして学校に行くのかという議論もありますが、これからの日本を担う青年には、多くの知識をつけ、色々なことに対して明確な判断が出来るようになっていただきたいと思います。

さて、弊社の社員にも、またお客様の企業で働く読者の皆様にも余計なお世話かもしれませんが、社会に出てからも自己教育習慣を持つのが最終目標だとスタッフに機会あることに話しています。人生においては、会社で仕事をしている時でも、普段の暮らしの中でも色々な問題が起きますが、豊富な経験や見識を持っている人は、正しい解決方法を早く見つけて処理をしていくように見受けまます。学校ではあくまでもゆっくりでも良いから適切な学習習慣をつけること、社会に出たらそれを持続させることが、その人の大成につながるように思うのですが、いかがでしょうか？

さて、趣味の日本蜜蜂ですが、養蜂家にとっては待望の分封時期が近づきました、桜が満開になる頃から、桜の花が散るまでのおよそ 1 か月の期間に、冬を超えた元気な日本蜜蜂が子供を増やして大群になり、分封します。その分封群を何とか捕獲しようと、あたかも此処の家は住み良いよと、空の巣箱を日本蜜蜂が住処を探しているだろう箇所を設置して、この時期にひたすら空の巣箱に入居して貰うのを待つわけです。

空の巣箱に巣門という 6.5 mm 程度の隙間を作るのですが、そこが中に入る入口になるので、日本蜜蜂の蜜ろう等を塗り、いかにも住処には最適ですよと誘き寄せることになります。最近では、こういう日本蜜蜂の分封群を引き付ける、キンリョウヘン（蘭の一種）の花の匂いと同じ成分の化学トラップが開発されて販売されており、捕獲にもハイテク時代が来ているようです。

かなり前にも書きましたが、養蜂家の一番多い地域は東京の銀座らしいという情報もあります。銀座は皇居に近く、皇居には一年中花があり、あまり農薬などを使用しないため、多くのスイーツ店のオーナーが専門の養蜂家の指導を受け、お店の屋上に巣箱を置いて採蜜し、それをケーキなどに使用していると聞きます。どこの国のどのような環境での花からの蜜か、正体が明確なこのようなハチミツは安心して使えそうですね。

特にハチミツについては、働き蜂が蜜を体内に蓄えて自分の巣に戻ってきます。戻ってすぐに巣の中に蜜を蓄えるのではなく、一度働き蜂として成長前の仲間に口移しで蜜を移動させ、体温で蜜の中の水分をある一定以上蒸発させてから巣の入れ物に入れます。例えば人間に危険な有害物質を働き蜂が持って帰ったとすると、巣に帰る途中や帰った巣の中で待っていた仲間の蜜蜂が死んでしまう事故が生じます。そういう過程があるので蜜蜂の蜜は安全と言っても良いのですが、通常は蜜蜂の蜜は 1 歳児以下には食べさせないようにと国からも指導されています。ボツリヌス菌は自然界のどこにでもいる菌ですが、加熱処理をされていない生はちみつにこの菌が入り込んでいることが極まれにあるそうです。抵抗力も免疫力もまだない、1 歳未満の赤ちゃんが摂取すると乳児ボツリヌス症になる危険性があり、最近そういう事故も生じていますのでご注意ください。また食べすぎも、アレルギーになる方もいるようなので注意が必要です。結局今回の落ちは、そんなに甘い話ばかりではないですよということです。（人生訓みたいになってしまいました）

来月には捕獲の成果をご報告出来ると思います。

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで [sales@cosmos-corp.com](mailto:sales@cosmos-corp.com)  
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

### コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2018-04-01 (No. 96)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2018 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。